

はじめての映像翻訳

TEXT

～映像翻訳のルールと基礎知識～

目次

TEXTでは映像翻訳の基本的なルールや、仕事の流れなどについて学んでいただきます。
WORKBOOKの添削課題に取り組む際には、
TEXTのルールを参照しながら取り組みましょう。

•はじめに	P.3
-------	-----

1 映像翻訳の世界へようこそ	P.4-5
----------------	-------

1-1 映像翻訳の主なメディア	4
1-2 映像翻訳の主なジャンル	5
1-3 映像翻訳の手法	5

2 はじめよう映像翻訳	P.6-23
-------------	--------

2-1 映像翻訳と他の分野の翻訳との違い	6
2-2 セリフとストーリー	8
2-3 はじめよう字幕翻訳	10
2-4 はじめよう吹替翻訳	16
2-5 字幕・吹替の共通の注意点	21

3 プロとして仕事を始める	P.24-28
---------------	---------

吹替原稿の書き方例

		画面(場面・状況設定など)							
		字幕指定			シーンの区切り			場所を表す	
ジョブ	T/O	医師A	サラ	看守A	看守B	医師A	看守A	医師A	看守A
「病院の正門」(夜) バイクを止めるジョン		有毒危険 業務用洗浄剤	字幕	「病院事務局」(夜)	看守を倒し縛る カギを奪うサラ 逃げるサラと探すT/O 集まる通行人たち	「病院事務局」(夜)	見回りをする看守が不審な 点に気がつく	「病院事務局」(夜) 守衛に化けたT/O 見回りをする看守が不審な 点に気がつく	画面(場面・状況設定など)
殺さないで約束忘れちゃだめだよ	何で止める? (SE 肩) バイク	医師A	何をする? (SE ボトル、注射器)	看守A	腕が折れた 骨なんでものは 動かないで!	看守B	一度ですか? ああ 食らえ! (SE 殴る音)	看守A	人物名
		<p>かぶり(重なったセリフ)指定</p> <p>OF (小さく)二十四号室の患者だが投与量を二五〇ミリグラムに増やしたまえ(ON)</p> <p>OF(OS) : オフシーン(話者が画面に出ない) ON : オンシーン セリフの途中でONになる場合は ()でくくる</p>						音声(セリフなど)	
		<p>縦書きなので数字は漢数字を使用しますが、最近では読みやすさを重視し、アラビア数字を使用することも多いです。</p> <p>フレーズが短いときは1マス空ける(長いときは改行する)</p> <p>(SE) : 効果音 セリフより下げる</p>							

映像翻訳とは何か、映像翻訳のルールや原稿の書き方、映像翻訳業界の現状や仕事のプロセスまで、各章で細かく説明していきます。

はじめての映像翻訳

WORKBOOK

～練習課題と添削課題～

目次

WORKBOOKは4つのテーマで構成されています。
各パートではテーマに沿った練習問題と全6課題の添削課題に取り組んでいただきます。

ワークブックの使い方

P.3

Part 1 キャラクターや人間関係をセリフで表現 P.5-10

- 練習課題 _____ P.5
添削課題 1 _____ P.8

Part 2 意を汲んで訳す P.11-16

- 練習課題 _____ P.11
添削課題 2 _____ P.13

Part 3 冒頭で観る人を引き込む P.17-22

- 練習課題 _____ P.17
添削課題 3 _____ P.20

Part 4 吹替と字幕の訳し分け徹底演習 P.23-31

- 練習課題 _____ P.23
添削課題 4 _____ P.27
添削課題 5 _____ P.28
添削課題 6 _____ P.30

Part 1 キャラクターや人間関係をセリフで表現

それではいよいよ映像翻訳に挑戦していきましょう。

最初の練習課題では、キャラクターや人間関係を考慮して自然なしゃべり言葉で訳すことを意識してみてください。

たとえば、英語では男女の言葉遣いの違いは少ないですが、日本語では男コトバ女コトバがはっきりと分かれていますし人称代名詞や敬語、丁寧語、待遇表現なども豊富です。また、英語の会話では互いをファーストネームで呼び合う習慣がありますが、そのまま訳すと日本語としては不自然ですし人間関係も伝わってきません。そこで相手を「先生」「兄貴」「社長」「あなた」と呼べば、人間関係はもちろん、時には社会的立場や職業まで打ち出せるのです。人称代名詞もこれと同じです。“You”ひとつとっても「お前」「君」「あんた」「ダーリン」「そちら様」といろいろ考えられます。それぞれが持つイメージをキャラクターにあてはめていくのが、翻訳の醍醐味です。

テキストページ、「2-1-2 セリフを訳す」も参

まずは、ご自分で練習課題に取り組んでみてください。練習課題の訳例と解説を参考にしながら、ご自身の訳と見比べ、テーマの理解度を深めていきます。



練習課題

(場面説明)

舞台は1948年夏、アトランタ。72歳の末亡人デイジーは気丈でかくしゃくとしているが、寄る年波には勝てず、車を運転中に事故を起こしてしまう。心配した息子ブーリーは、母に新車とお抱え運転手をつける。雇われたのは60歳になる人当たりのよい黒人男性ホーク。ところが、デイジーは人種に対する偏見とプライドから強情を張り、ホークの車に乗ろうとしない。仕方なく、屋敷の周りで庭いじりなどを毎日暇をつぶしているホーク。この日もホークの運転する車にかたくなに乗ろうとせず、電車で出かけようと家を出たデイジー。そのデイジーの横をホークが車で追いつき、車に乗ってもらおうと説得するシーン。近所の住人の視線が気になるデイジーは、落ち着かない様子で歩を進めながら車中のホークと話を続ける。

DAISY: How much does he ^{(*)1} pay you?

HOKE: Now Miss Daisy, that's between him and me.

DAISY: Anything over seven dollars a week is robbery.

Highway robbery!

HOKE: Yes, you sure right about that.

'Specially (= Especially) since I don't do nothin' (= nothing) but
sittin' (= sitting) in your kitchen on a stool all days.

DAISY: All right! Piggly Wiggly^{(*)2}. Then home. Nowhere else.

HOKE: Yes'M. Oh, I just love the smell of new car.

*1 he : 息子ブーリー *2 Piggly Wiggly : スーパーマーケットの店名

この時点では、まだデイジーはホークに心を開いていません。

それぞれの年齢とキャラクター、そして主従関係を打ち出すセリフ作りを目指してください。

Part 1

添削課題 1

練習問題に取り組んだ後は、いよいよ添削課題です。
DVDで配布する添削課題用の映像を見ながら、テキストや練習課題で学んだことを総動員して訳し、課題を提出してください。

以下のスクリプトを「吹替」、「字幕」の両方で訳してください。

添削課題に取り組む際は、テキスト10ページ、「2-3 はじめよう字幕翻訳」、16ページ、「2-4 はじめよう吹替翻訳」でご紹介した手順やルールに従ってください。

また、テキスト15、20ページの書き方例をご参考にしてください。

(場面説明)

～『不思議の国のアリス (Alice in Wonderland)』

アリスは服を着た白うさぎの後を追いかけるうち深い穴に落ちてしまい、不思議な世界に迷い込んだ。風変わりな音楽に導かれてのぞいた家ではマッドハッターと三月うさぎが「誕生日じゃない日」を祝うティー・パーティを開いている。

■以下を吹替のルールで訳してください。

9ページの①～⑩の部分に画面、人物名、音声をあてはめて台本を完成させてください。

MARCH HARE & MAD HATTER: No room, no room, no room, no room, no room, no room, no room!

ALICE: But I thought there was plenty of room.

MARCH HARE: Ah, but it's very rude to sit down without being invited!

MAD HATTER: I say it's rude. Its very very rude, indeed! Hah!

DORMOUSE: Very very very rude, indeed...

ALICE: Oh, I'm very sorry, but I did enjoy your singing and I wondered if you could tell me...

MARCH HARE: You enjoyed our singing?

MAD HATTER: Oh, what a delightful child! Hah! I'm so excited, we never get compliments! You must have a cup of tea!

MARCH HARE: Ah, yes indeed! The tea, you must have a cup of tea!